

作成日：令和3年2月24日

第3回 高松圏域自立支援協議会 災害時ワーキンググループ議事録

日付	令和3年2月17日(水)
時間	13:30~15:00
開催会場	高松市社会福祉協議会 西館2階小会議室
参加機関等	在宅療養ネットワーク、支援センターこがも、高松赤十字病院、高松市健康づくり推進課、高松市健康福祉総務課、高松市社会福祉協議会、高松市障がい者基幹相談支援センター中核拠点 順不同 計8名

議題1：モデルケースについて

議事	モデルケース候補の詳細を主対応者よりご報告いただき協議する。
決定事項	前回検討したケースも含め、3ケースをモデルケースとして取り上げることを決定する。
今後の動き	

議題2：モデルケースに対する災害時プランの作成の進め方について

議事	モデルケースに対する今後の流れを以下の通り確認、確定する。 ①本人・家族に対してモデルケースとして災害時プランを作成することの同意を得る ②アセスメントの実施(災害発生時の懸念を把握、対処法について検討) アセスメントに並行して高松市避難行動要支援者名簿の登録手続きをする ③各地域で作成されている「災害時個別支援計画」の様式(第2回災害時WG資料④)に沿って、計画案を作成
----	---

	<p>④案を持って、地域住民を交えてのケア会議を実施し、「災害時個別支援計画」を完成させる</p> <p>⑤本人・家族の同意を得て、ケア会議の参加機関に「災害時個別支援計画」を配布</p> <p>⑥実際に避難を体験する（→結果必要に応じて再度ケア会議、計画を修正、配布）</p>
決定事項	<ul style="list-style-type: none"> ・①同意取得の対応者を決定する ・②のアセスメント作成は保健師がおこなうこととする。アセスメントに用いるツールは「在宅人工呼吸器使用災害時個別支援計画」
今後の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・同意書については事務局で案を作成し次回までにメールで発信し意見を募る。 ・③～⑥に関して、モデル毎に具体的な段取りを確認し担当者を確定させる。